

**総合重工社
各**

反転攻勢 打ち出す

環境対応や構造改革

入社式

■JMU・千葉光太郎
■三井E&Sホールディングス・高橋岳之社長
■住友重機械工業・下村真司社長
■川崎重工業・橋本康彦社長
■常石グループは、カーボンニュートラルに挑める。当社グループのミッションを常に意識しながら変化や失敗を恐れず、果敢に新しいことにチャレンジしていく。

■JMUは自分たちの強みである人財・技術力・開発力を最大限に生かし、環境性能の高い船を

日本で建造し広く世界に

提供していくという高い

志を持つて、攻めの姿勢

を貫いてきた。その象徴

が昨年1月に発足した今

治造船との事業・設計合

弁会社「日本シップヤード(NSY)」。昨年12

までの1年間で約150

隻の受注実績を上げ、お

むね2年から約2年半

の工事量を確保した。

■川崎重工業・橋本康彦社長

特に注力すべき3つの

フィールドを「安全安心

リモート社会」「近未来

モビリティ」「エネル

ギー・環境ソリューション」と定めた。2月には

世界初の水素運搬船「す

いそふろん」が

試験航海を成功させ、水

素でのカーボンニュート

ラル実現に向けて着実に

進捗している。

■三菱重工業・泉澤清

言した。以前から省エネ

ルギー技術、新エネルギー

技術、CO₂(二酸化

炭素)回収技術などの研

究開発を数多く実施。

幅広い技術を保有している

は成長の証しとなるもの

■JMU・千葉光太郎
■三井E&Sホールディングス・高橋岳之社長
■住友重機械工業・下村真司社長
■川崎重工業・橋本康彦社長
■常石グループは、カーボンニュートラルに挑める。当社グループのミッションを常に意識しながら変化や失敗を恐れず、果敢に新しいことにチャレンジしていく。

■JMUは自分たちの強みである人財・技術力・開発力を最大限に生かし、環境性能の高い船を

日本で建造し広く世界に

提供していくという高い

志を持つて、攻めの姿勢

を貫いてきた。その象徴

が昨年1月に発足した今

治造船との事業・設計合

弁会社「日本シップヤード(NSY)」。昨年12

までの1年間で約150

隻の受注実績を上げ、お

むね2年から約2年半

の工事量を確保した。

■川崎重工業・橋本康彦社長

特に注力すべき3つの

フィールドを「安全安心

リモート社会」「近未来

モビリティ」「エネル

ギー・環境ソリューション」と定めた。2月には

世界初の水素運搬船「す

いそふろん」が

試験航海を成功させ、水

素でのカーボンニュート

ラル実現に向けて着実に

進捗している。

■三菱重工業・泉澤清

言した。以前から省エネ

ルギー技術、新エネルギー

技術、CO₂(二酸化

炭素)回収技術などの研

究開発を数多く実施。

幅広い技術を保有している

は成長の証しとなるもの

だ」との言葉を贈った。

河野会長は常石グル

ープについて「1903年

に海運業を始め、今では

海運、造船、環境、エネ

ルギー、サービスという

5つの事業セグメントを

行う企業へと成長し

た」と説明。

その上で、「これらは

諸先輩たちがいろいろな

ことに挑戦してきた歴史

で、そのためのでもあ

る。これから私たちと一緒に

さまざまな挑戦を

していく」と呼び掛け

た。

■JMU・千葉光太郎
■三井E&Sホールディングス・高橋岳之社長
■住友重機械工業・下村真司社長
■川崎重工業・橋本康彦社長
■常石グループは、カーボンニュートラルに挑める。当社グループのミッションを常に意識しながら変化や失敗を恐れず、果敢に新しいことにチャレンジしていく。

■JMUは自分たちの強みである人財・技術力・開発力を最大限に生かし、環境性能の高い船を

日本で建造し広く世界に

提供していくという高い

志を持つて、攻めの姿勢

を貫いてきた。その象徴

が昨年1月に発足した今

治造船との事業・設計合

弁会社「日本シップヤード(NSY)」。昨年12

までの1年間で約150

隻の受注実績を上げ、お

むね2年から約2年半

の工事量を確保した。

■川崎重工業・橋本康彦社長

特に注力すべき3つの

フィールドを「安全安心

リモート社会」「近未来

モビリティ」「エネル

ギー・環境ソリューション」と定めた。2月には

世界初の水素運搬船「す

いそふろん」が

試験航海を成功させ、水

素でのカーボンニュート

ラル実現に向けて着実に

進捗している。

■三菱重工業・泉澤清

言した。以前から省エネ

ルギー技術、新エネルギー

技術、CO₂(二酸化

炭素)回収技術などの研

究開発を数多く実施。

幅広い技術を保有している

は成長の証しとなるもの

だ」との言葉を贈った。

河野会長は常石グル

ープについて「1903年

に海運業を始め、今では

海運、造船、環境、エネ

ルギー、サービスという

5つの事業セグメントを

行う企業へと成長し

た」と説明。

その上で、「これらは

諸先輩たちがいろいろな

ことに挑戦してきた歴史

で、そのためのでもあ

る。これから私たちと一緒に

さまざまな挑戦を

していく」と呼び掛け

た。

■JMU・千葉光太郎
■三井E&Sホールディングス・高橋岳之社長
■住友重機械工業・下村真司社長
■川崎重工業・橋本康彦社長
■常石グループは、カーボンニュートラルに挑める。当社グループのミッションを常に意識しながら変化や失敗を恐れず、果敢に新しいことにチャレンジしていく。

■JMUは自分たちの強みである人財・技術力・開発力を最大限に生かし、環境性能の高い船を

日本で建造し広く世界に

提供していくという高い

志を持つて、攻めの姿勢

を貫いてきた。その象徴

が昨年1月に発足した今

治造船との事業・設計合

弁会社「日本シップヤード(NSY)」。昨年12

までの1年間で約150

隻の受注実績を上げ、お

むね2年から約2年半

の工事量を確保した。

■川崎重工業・橋本康彦社長

特に注力すべき3つの

フィールドを「安全安心

リモート社会」「近未来

モビリティ」「エネル

ギー・環境ソリューション」と定めた。2月には

世界初の水素運搬船「す

いそふろん」が

試験航海を成功させ、水

素でのカーボンニュート

ラル実現に向けて着実に

進捗している。

■三菱重工業・泉澤清

言した。以前から省エネ

ルギー技術、新エネルギー

技術、CO₂(二酸化

炭素)回収技術などの研

究開発を数多く実施。

幅広い技術を保有している

は成長の証しとなるもの

だ」との言葉を贈った。

河野会長は常石グル

ープについて「1903年

に海運業を始め、今では

海運、造船、環境、エネ

ルギー、サービスという

5つの事業セグメントを

行う企業へと成長し

た」と説明。

その上で、「これらは

諸先輩たちがいろいろな

ことに挑戦してきた歴史

で、そのためのでもあ

る。これから私たちと一緒に

さまざまな挑戦を

していく」と呼び掛け

た。

■JMU・千葉光太郎
■三井E&Sホールディングス・高橋岳之社長
■住友重機械工業・下村真司社長
■川崎重工業・橋本康彦社長
■常石グループは、カーボンニュートラルに挑める。当社グループのミッションを常に意識しながら変化や失敗を恐れず、果敢に新しいことにチャレンジしていく。

■JMUは自分たちの強みである人財・技術力・開発力を最大限に生かし、環境性能の高い船を

日本で建造し広く世界に

提供していくという高い

志を持つて、攻めの姿勢

を貫いてきた。その象徴

が昨年1月に発足した今

治造船との事業・設計合

弁会社「日本シップヤード(NSY)」。昨年12

までの1年間で約150

隻の受注実績を上げ、お

むね2年から約2年半

の工事量を確保した。

■川崎重工業・橋本康彦社長

特に注力すべき3つの

フィールドを「安全安心

リモート社会」「近未来

モビリティ」「エネル

ギー・環境ソリューション」と定めた。2月には

世界初の水素運搬船「す

いそふろん」が

試験航海を成功させ、水

素でのカーボンニュート

ラル実現に向けて着実に

進捗している。

■三菱重工業・泉澤清

言した。以前から省エネ

ルギー技術、新エネルギー

技術、CO₂(二酸化

炭素)回収技術などの研

究開発を数多く実施。

幅広い技術を保有している

は成長の証しとなるもの

だ」との言葉を贈った。

河野会長は常石グル

ープについて「1903年

に海運業を始め、今では

海運、造船、環境、エネ

ルギー、サービスという

5つの事業セグメントを

行う企業へと成長し

た」と説明。

その上で、「これらは

諸先輩たちがいろいろな

ことに挑戦してきた歴史

で、そのためのでもあ

る。これから私たちと一緒に

さまざまな挑戦を

していく」と呼び掛け

た。

■JMU・千葉光太郎
■三井E&Sホールディングス・高橋岳之社長
■住友重機械工業・下村真司社長
■川崎重工業・橋本康彦社長
■常石グループは、カーボンニュートラルに挑める。当社グループのミッションを常に意識しながら変化や失敗を恐れず、果敢に新しいことにチャレンジしていく。

■JMUは自分たちの強みである人財・技術力・開発力を最大限に生かし、環境性能の高い船を

日本で建造し広く世界に

提供していくという高い

志を持つて、攻めの姿勢

を貫いてきた。その象徴

が昨年1月に発足した今

治造船との事業・設計合

弁会社「日本シップヤード(NSY)」。昨年12

までの1年間で約150